

別紙

令和6年度 天草市立天草中学校 学校評価書

校 長 澤森 智

1 学校関係者評価委員名

田中 光徳 (学校運営協議会会長・区長会代表)	嶋田 順一 (天草まちづくり協議会会長)
堀口 広正 (天草支所長)	行合 八恵子 (主任児童委員代表)
松浦 四郎 (もみじ保育園長)	鹿釜 徹 (駐在所代表)
平松 和徳 (福連木里づくり協議会会長)	山本やよい (地域学校協働活動推進員)
伊野 修一 (天草町人権擁護委員)	森口 義也 (天草小PTA会長)
川原 靖 (天草中PTA会長)	松本 真由美 (天草小学校 校長)
澤森 智 (天草中学校 校長)	岩崎 英朋 (天草小学校 教頭)
山下 明朗 (天草中学校 教頭)	

2 学校関係者評価

番号①から⑧は評価の視点で、その視点に基づき記述されている。

- ① 学校運営 ② 学力充実 ③ 豊かな心の育成 ④ 情報公開、情報発信 ⑤ 環境整備
⑥ 生徒指導 健康・安全指導 ⑦ 地域との連携 ⑧ その他

① 学校運営

- ・教育目標については、児童生徒に浸透していて先生方の努力によりいい方向に向かっていると思います。小中合同の運動会や持久走大会等の行事は、いい結果が出ていると思います。
- ・天草で生きる子どもたちに適した教育目標が掲げられ、運営が実施されている。体験学習を取り入れた行事・活動は、将来故郷を愛する心を育み、心豊かな人格形成を成し遂げ、将来社会を生き抜く力になると信じます。
- ・目的達成のため、努力することの指導が大切だと感じます。

② 学力充実

- ・県学力調査は良い結果を出され、先生方の授業の工夫、向上、努力が見え、嬉しく思います。
- ・小学校での基礎学習が生きているので、生徒全般いい結果が出ていると思います。入選等もたくさんあり、素晴らしいです。
- ・タイピング大会の実施、ICT活用授業の工夫、授業向上に努力をされ、結果も出ていると感じます。「できた、わかった」の達成感を経験させるのに大きな期待をしています。

③ 豊かな心の育成

- ・感受性豊かな子供がたくさんおり、作文や絵画等が素晴らしい。また、歌唱についても素晴らしいと思います。

④ 情報公開、情報発信

- ・ホームページを見るのがとても楽しみです。
- ・天中だよりの関係者配布は、情報が分かり難い中学校の教育方針、教育の在り方、生徒の活動が理解でき良い。

⑤ 環境整備

- ・体育館にエアコンが入り、夏場の子供たちの体調の心配が少なくなりよかったです。
- ・小中学校共に、よく整備されている。

⑥ 生徒指導、健康・安全指導

- ・スマホやゲーム等の時間厳守の徹底を、保護者とともに努力してもらいたい。成人になってから健康の弊害が出てくるのでは、と心配します。
- ・とても落ち着いて学校生活が送れているように思います。先生方が子供たちにしっかり向き合っておられているなあと思います。
- ・生徒たちの落ち着いた授業風景や言動・行動から、生徒指導が適切に実施されていると思う。また、地域の祭りに参加し、笛を吹き盛り上げてくれてとても喜ばれていました。年下の子供たちと料理作りや遊びの活動にも協力してくれました。

⑦ 学校（教職員）と地域との連携

- ・担当の先生を中心に、体験活動（特に海洋教育）がとても充実していたと思います。先生方の思いに答えて下さる地域の方に感謝しかありません。
- ・合併して地域の学校がなくなり、地域で子供を育てる精神が薄れつつある。地域文化の継承やイベントへの出演やボランティア等を積極的にやっていただき、大変感謝申し上げます。
- ・学校運営協議会では連携を感じる。合同運動会や学習発表会、文化祭の地域住民の大勢の観客は、学校に対する関心の表れだと思う。
- ・小中学校の地域との連携を比較すると、小学校が絵本の読み聞かせ、短歌作り、こっぱ作り体験、子供民生委員活動等があり多いと思う。連携はあるが周知が少ないようにも思います。

⑧ その他

- ・先生方が毎日創意工夫され、熱心に授業されていて敬服いたします。特に感じたのが、小学校5年生の授業を参観して、ICT活用の授業展開と教師としての思いを伝えられる姿に心打たれました。このような人ととのつながりが人間へ育むのだなということを学びました。
- ・学校運営協議会を設置した効果が今ひとつ分かり難い気がします。児童生徒数が減少する中、質の高い教育ができていくように、地域住民として協力していきたいと思います。

3 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

(1) 小規模校としての「強み」を生かした「全員主役・全員本気・全員成長」の教育

郷土を愛する心を育み「全員主役・全員本気・全員成長」の教育が実現できるよう、体験学習や生徒会活動を中心に、教師が「生徒が主体となる活動」を創造する。生徒は、自分たちが主体となった活動を多く経験し、教科で学んだ力と結びつけながら自信を深めていく。

(2) 確かな学力の育成

学力の更なる向上を目指すため、全国や県の学力・学習状況調査の分析をもとに、生徒一人一人の学習状況の改善を図る。また、「子供を学びの主体」とする授業力向上を目指し、校内研修で職員同士が互いに学び合い、自らの授業力を向上させる意識を高める。また、ICTを効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現、根拠を言語化する力（表現力）と発信力の育成、個別指導・家庭学習の充実による誰一人取り残さない学びの保障に取り組む。

(3) 地域とともにある学校～天草体験学習の継続・深化～

地域学校協働活動推進員の尽力で地域の方との連携体制が構築されている。今後も地域の方々の協力の下、天草体験学習に海洋教育を加えた取組を継続する。生徒会による地域ボランティアも定着してきた。さらに地域との連携を図りながら体験活動・ボランティア活動を充実させることで郷土を愛する生徒の育成に努め、地域とともにある学校づくりを目指す。また、生徒には地域づくりの意識を持たせたい。

(4) 小中連携

小中連携を効果的に行うことで、9年間を見通した子どもたちの健やかな成長を育むことができる。天草小中学校運営協議会が発足した意義を再確認し、地域と学校の交流や児童生徒の交流、小中学校職員との連携について検討を重ね、学校行事や体験学習、職員研修をより一層充実させる。また、第2回小中合同運動会の実施に向けて準備を進める。

※A 4 表1枚に簡潔にまとめてください。（行幅やフォントサイズ等の変更可）